

わたくしたち 茨木市民は
心をあわせて
あすの力をそだてましょう
仕事にはげんで
明るい家庭をさすきましょう
環境をとのえて
美しいまちをつくりましょう
まきをまもって
良い風習をひろめましょう
みんなの文化をたかめましょう

茨木市民憲章

まちづくりの友

編集・発行 茨木市住みよいまちづくり協議会

事務局

茨木市市民文化局地域コミュニティ課内
電話:072-620-1604(ダイヤルイン) FAX:072-620-1715
E-mail:community@city.ibaraki.lg.jp

創刊100号を記念して

創刊号より支えてくださった皆様へ感謝を申し上げます。皆様の関心と愛情があるからこそ、「まちづくりの友」は100号まで歩み続けることができました。これからも、地域社会に寄り添い続ける広報紙として、皆様に愛される存在でありたいと思います。

記念すべき100号の発行を祝し、「まちづくりの友」がこれからも地域と共に成長し続けることを願っています。

茨木市住みよいまちづくり協議会 会長 西川 朋

茨木市住みよいまちづくり協議会 会長 西 川 明



創刊号(昭和46年)

令和7年度
定期総会開催



西川会長のあいさつ



福岡市長のあいさつ

令和7年度定期総会概要

- 1 開会
2 市民憲章唱和
3 会長あいさつ
4 表彰状贈呈
5 来賓祝辞
6 議事
第1号議案 令和6年度事業報告 原案どおり承認
第2号議案 令和6年度決算報告 原案どおり承認
第3号議案 監査報告
第4号議案 役員改選
第5号議案 令和7年度事業計画 原案どおり承認
第6号議案 令和7年度予算 原案どおり承認
7 講演会
テーマ「大阪・関西万博について」
講師 近畿経済産業局 中小企業政策調査課
課長 阿瀬 太 氏
8 閉会

5月10日(土)茨木市市民総合センター(クリエイティブセンター)のセンターホールにおいて、「令和7年度茨木市住みよいまちづくり協議会定期総会」を開催しました。当日は、約150名が出席されました。

善行者・くらしの中の花いっぱいコンクールの表彰を行いました。地域内の美化や緑化の推進など、住みよいまちづくりに向けて、他の模範となる奉仕活動を実践されている方を讃え表彰状をお贈りしました。

総会後、近畿経済産業局 中小企業政策調査課長
阿瀬 太氏に、「大阪・関西万博について」をテーマに
ご講演いただきました。(詳しい内容は次頁)

出席者は熱心に話を聞いておられました。



議事の様子

[illegible]

定期総会講演会

テーマ 「大阪・関西万博について」

講演者 近畿経済産業局 中小企業政策調査課長 阿瀬 太氏

住みよいまちづくり協議会の発足のきっかけとなった、1970年の万博から55年! 再び大阪で万博が開催されています!

国際博覧会(万博)とは、国際博覧会条約で定められた催しです。世界各国の人やモノが集まり、人類の活動における技術の進捗や将来の展望を多くの人々に示す場になっています。第1回目は、1851年にロンドンで開催されました。日本は、1867年のパリ万博で初参加し、日本茶屋について紹介したと言われています。そして、日本で初めて万博が開催されたのが55年前の1970年、日本万国博覧会(大阪万博)です。「人類の進歩と調和」というテーマで開かれました。この万博では6,400万人という入場者数を記録し、それまでの万博史上最大(当時)のイベントになりました。連日、世界の祭りなどが紹介され、多くの少年少女が未来に熱狂し、たくさんの企業・才能が世界に飛躍するなど、21世紀への夢や希望として人々に大きな影響を与えました。

そして、2025年日本国際博覧会、(通称)大阪・関西万博が開催いたします。158か国・地域、7国際機関が参加し、各国の期待に応える国際的な責務と外交的な意義があるものとなっています。開催期間は、4月13日から10月13日までの184日間です。テーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」で、未来への希望を世界に示す万博を目指しています。万博は当初、各国の産業や技術を自慢し合うような産業見本市から始まりましたが、20世紀に入ると、それぞれの万博にテーマを入れましょうということになり、さらに21世紀になると、技術よりも人類共通の課題を世界の各国でどうやって解決していくかをテーマに加えるようになりました。1970年は未来を見せる万博であったのに対して、今回の万博では、未来を考える万博になっています。

大阪・関西万博の魅力は、多彩なイベントです。ほぼ毎日、どこかの国の民族衣装で歌や演奏、ダンスが披露されるナショナルデーまたはスペシャルデーというイベントが開催され、盛り上がりを見せています。さらに、会期中毎日開催される「One World, One Plant.」はドローンや、会場全体の音響・照明装置、プロジェクションマッピングなどが連動する壮大なショーです。また、水のスクリーンをつくりだすモニュメントや約300基の噴水をはじめ、照明やレーザーなどさまざまな演出が行われる水と空気のスペクタクルショー「アオと夜の虹のパレード」も毎日2回行われます。予約制ですが、非常にダイナミックで右から左まで200mぐらいのスケールで行われるものなので、ぜひ見ていただきたいです。

個人的には、夜の来場がおすすめです。夜だと来場者が少なくなるので、いろんなパビリオンの待ち時間が短くなります。また、ショーやライトアップされたパビリオンが綺麗で非常に見やすいです。1日では時間が足りないと思いますので、通期パス等を購入して、ぜひ万博に足を運んでみてください。



茨木市住みよいまちづくり協議会 令和7年度重点実践項目

- 1 住みよいまちづくりを目指し 市民憲章の周知と実践に努めよう
- 2 地域環境を大切にして 花と緑をいっぱいになろう
- 3 安全・安心な まちづくりを 推進しよう
- 4 教養をふかめて 温かい心で交流しよう
- 5 郷土の伝統や文化財を 大切にしよう



主な取り組み

総務部会

- 市民憲章唱和の推進
- 機関紙「まちづくりの友」の発行
- 広報活動用掲示板の配布など
- 大学との連携



風習部会

- 迷惑駐車防止用ビラの配布
- 安全・安心まちづくりの日キャンペーン等の実施
- 自転車運転マナー啓発活動の推進



環境部会

- 市内一斉清掃の実施及び参加拡大
- 清掃活動補助制度の実施
- 清掃用ロゴ入りごみ袋の作成
- 草花苗の配布等



善行者・善行団体表彰

表彰者
(個人)

緒方 秀樹 様 平野 博 様
黒石 正代 様 向井野 孝一 様
野口 實 様



表彰者へは、表彰状と記念品を贈呈いたしました！
おめでとうございます！

緒方 秀樹 様

長年にわたり、地域の児童遊園の草刈りや側溝の掃除、設備などの手入れを行い、児童遊園の美化やこども達が安全に使用できる環境づくりに寄与されています。



迷惑駐車防止ビラ

迷惑駐車を減らして、安全な住みよいまちづくりを推進するために「迷惑駐車防止用ビラ」の配布を行っています。「迷惑駐車防止用ビラ」が必要な場合は、事務局までご連絡ください。

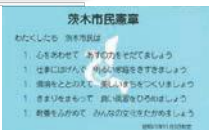


事務局(茨木市 地域コミュニティ課)

TEL 072-620-1604

市民憲章

市民憲章は、茨木市民としての市民性を高め、より住みよい地域社会をつくるため、市民一人ひとりの生活信条の指針として、市民の自発的な総意に基づいて、昭和41年に定められたものです。市民憲章を更に広めるため、推進活動の一環として唱和に必要なカードの配布を行っています。市民憲章カードが必要な場合は、事務局までご連絡ください。



事務局(茨木市 地域コミュニティ課)

TEL 072-620-1604

清掃活動補助

茨木市住みよいまちづくり協議会では、構成団体等が実施する清掃活動に伴う清掃用具の購入に対し、補助金を交付しています。

◆補助対象…購入した清掃用具(ゴミ袋、軍手、ほうきなど)の経費の2分の1(限度額5千円)を年1回請求することができます。 ※草刈り機、脚立等は対象外

◆請求方法…所定の用紙に必要事項を記入し、購入したものの内訳がわかる領収書(レシート可)を添付して事務局まで提出してください。

◆申請・請求先…事務局(茨木市 地域コミュニティ課)

TEL 072-620-1604



美化活動ベスト

市では、美化活動を定期的実践している方に対して、美化活動ベストを貸与しています。美化活動の安全な推進と、環境美化意識を高めるためにご利用ください。

◆貸与対象…地域の公共的な場所の美化活動を定期的実践している市内在住・在勤・在学者及び市内に活動拠点を有する団体等

◆貸与内容…ベスト

※大きめのサイズ(XL)を ご用意しております。

◆備考…枚数制限あり

◆申請先…茨木市 地域コミュニティ課

TEL 072-620-1604



年末市内一斉清掃用ゴミ袋等の協賛金を募集しております

昨年度は、29団体・企業に協賛金のご協力をいただきました。ゴミ袋は、市内一斉清掃に参加していただきました自治会、老人クラブへ配布しました。協賛金のお申し込みは事務局までお問い合わせいただきますようお願いいたします。

事務局 茨木市 地域コミュニティ課 TEL 072-620-1604



現在開催中の大阪・関西万博に茨木市から

梅花歌劇団「劇団この花」が 大阪ウィーク～夏～に出展予定!



大阪・関西万博の「大阪ウィーク ～夏～」とは?

大阪・関西万博会場内で、大阪府内の自治体が連携・協力し、大阪の魅力を国内外へ発信する催事です。「祭」をテーマに、春・夏・秋の3期(計35日間)にわたって、約400件のプログラムが実施予定です。

この「大阪ウィーク～夏～」の「大阪の祭!～EXPO 2025 真夏の陣～」の「次世代パフォーマンス」に、茨木市住みよいまちづくり協議会の活動に賛同いただいている梅花女子大学の梅花歌劇団「劇団この花」が出演します。

●日程:令和7年7月29日(火曜日) 10時頃～(予定) ●会場:EXPOアリーナ「Matsuri」

●内容:メインステージでの歌・ダンス・剣舞・太鼓をパフォーマンス予定

※内容については変更する可能性があります。

そこで今回、咲き誇る舞台の華 梅花歌劇団「劇団この花」を学生と一緒に取材しました!

※この記事は、大学連携の一環として市内の大学に通う学生が取材しています。



(写真左から) 梅花女子大学 谷口さん、梅花女子大学 津田さん、追手門学院大学 鎌谷さん、追手門学院大学 山本さん

◎梅花歌劇団「劇団この花」とは?

梅花女子大学で2016年にスタートした「学問と融合した歌劇団」です。現在は12名が所属し、毎年2月にオリジナルミュージカルの上演を行っています。劇団員は学業との両立をはかりながら「たくさんの人を元気づけられるように」という思いで日々稽古に励むとともに、芸術や文化の向上に貢献することを目標として、地域のイベントなどに出演しています。ダンス、歌、剣舞、太鼓といった様々なジャンルがあり、見どころがたくさんあるのが魅力です。

近年の公演では、2024年2月に「アガサ・クリスティ」、2025年2月には新作のオリジナルミュージカル作品「ミステリアスな絵画たち ～ゴッホ・ルノワール・クリムトなどの作品より～」を上演。オリジナルミュージカルを行っていることも全国の大学においても類をみない劇団となっています。2026年4月には劇団10周年を機に劇団からさらに発展し、「舞台芸術表現学科」(設置許可申請中)が開設予定です。



2025年2月に上演した
「ミステリアスな絵画たち
～ゴッホ・ルノワール・クリ
ムトなどの作品より～」



2024年2月に上演した
「アガサ・クリスティ」

団員の津田千尋さん(文化表現学部 情報メディア学科 4年)
谷口未来さん(心理こども学部 こども教育学科 2年)のお二人にお話を伺いました。

Q1 一番やりがいを感じる時はいつですか?

A1 津田さん:「公演」です。夏からお稽古が始まるため、台本と向き合う期間が半年間あります。その期間内でどれだけ成長していけるのか、その公演にかける熱量を高めていけるのかという自分と向き合う時間も、やりがいに感じています。



谷口さん:私も「公演」です。舞台からお客様の笑顔や様々な表情が見えることで、次も頑張ろうと思うことができ、とても良い経験が出来ていると実感しています。

Q2 演じるときの心掛けについて詳しくお伺いしたいです。

A2 津田さん:初めて見る方が多くいるイベント会場では、一人でも多くの人に劇団を知ってもらいたいという熱い思いや、たくさんの人にアピールできる場でもあるため、最大限の「笑顔」と「パッション」で舞台に臨むようにしています。また、自分自身が楽しむことも重要だと感じています。

谷口さん:自分が一番楽しむ気持ちを大切にしています。

Q3 困難な問題や課題に打ち勝つためにどのようなことを行ってきましたか?

A3 津田さん:悩むことがあれば同期や副リーダーに相談すると共に、お母さんから助言をもらったりしています。多くの人の意見や価値観を知ること、乗り越えることができているのかなと思います。また、「私たちが発信しないと何も始まらない」という気持ちや「自分から生み出したものが一番良いものだ」と感じながら日々お稽古に取り組んでいます。

Q4 今後目指していく姿を教えてください。

A4 津田さん:誰かを元気づけられる人になりたいです。2年上の先輩で、パフォーマンスが太陽のように輝いていた方がいました。私が膝のケガをしてしまい動けない期間があったのですが、その時にパフォーマンスをしている先輩の姿を見て、「私も誰かに影響を与えられるような存在になりたい」と強く思うようになりました。

Q5 最後になにか伝えたいことはありますか?

A5 津田さん:いろんなジャンルがあって見どころ満載ですので、ミュージカルだけでなく舞台をぜひ見に来て欲しいです!



取材の感想

追手門学院大学 山本 実咲さん

今回の取材を通じて、私の想像をはるかに超える熱量やチームワーク、一人一人の劇団に対する思いなど多くのことに感銘を受けました。舞台は一人で作り上げるものではなく、たくさんの方が関わることで素敵な舞台となることや、ただ単に舞台に立つのではなく、その裏でたくさんの努力や葛藤、試練を乗り越えてきたからこそ、観客の心を動かす舞台が生み出されるということ、また、良いものを届けたいという舞台に対する熱い思いや劇団この花への愛を感じました。大阪・関西万博の「大阪ウィーク ～夏～」でも、これまでの努力や思いが多くの人に届くような最高の舞台を迎えられることを心より願っております。

追手門学院大学 鎌谷 真衣さん

今回、梅花女子大学梅花劇団「劇団この花」さんに取材させていただき、劇団の方々の一つ一つの公演にかける思いが印象に残りました。見てくれているお客さんにどのようなことを表現したいのか模索しながら、資格取得のための勉強など、日々学業との両立をしているというお話を伺い、感銘を受けました。中でも「自分たちが発信しなければ何も始まらない」というのは、劇団の方々が数々の公演の中で体現してきたものなんだろうと感じました。現在開催されている大阪・関西万博の「大阪ウィーク ～夏～」への出演は、多くの方に見ていただける機会になります。公演が成功されることを祈念しております!

総務部会長 田峰 泰久

大阪・関西万博の「大阪ウィーク ～夏～」に、茨木市から梅花女子大学の梅花歌劇団「劇団この花」が出演されます!真夏の大会場で茨木の若い力を発揮してほしいと思います!

茨木市民のみんなで会場のEXPOアリーナ「Matsuri」に行き応援しましょう!

くらしの中の 花いっぱいコンクール

市民生活に身近な善行活動として、地域内の美化や緑化の推進など、住みよいまちづくりに向け、他の模範となるべき奉仕活動を実践されている方々に、その尊い行為を讃え表彰状をお贈りしました。受賞された皆さまは次の方々です。



表彰者

- *矢ヶ崎 聖子 様
- *グレースィ茨木 花の会 代表 高木 トシ子様
- *庄栄地区にお住まいの方



みなさま受賞おめでとうございます！



矢ヶ崎 聖子 様



グレースィ茨木 花の会 様



庄栄地区にお住まいの方

「くらしの中の花いっぱいコンクール」募集中！

皆さんの自宅や、近所の玄関先等を花でいっぱいにし、道行く人をなごませているお宅はありませんか。

応募
方法

自薦他薦は問いませんので、推薦者・被推薦者のご連絡先、写真等を添えて事務局までご提出ください。

一年を通して花でいっぱいにしていること

道路等に出ていないこと

外から見て花がいっぱいになっているのが見えること

実地調査後、環境部会で審査し、優秀事例を決定します。

また、本協議会の5月の定期総会にて表彰いたします。皆さまのご応募をお待ちしております♪

お出かけの季節 思い出と一緒に ごみは持ち帰りましょう
環境をととのえて 美しいまちを つくりましょう



編集
後記

「まちづくりの友第100号」をお読みいただきありがとうございます。1970年の大阪万博から55年の時を経て、大阪・関西万博開催の年に「まちづくりの友第100号」の発行ができることを嬉しく思います。今後も本協議会一同、心を込めて作成していきますので、よろしくお願いいたします！